

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 6 月 8 日 (2006.6.8)

【公開番号】特開 2000-254048 (P2000-254048A)

【公開日】平成 12 年 9 月 19 日 (2000.9.19)

【出願番号】特願 平 11-105697

【国際特許分類】

A 4 7 L 9/02 (2006.01)

【F I】

A 4 7 L 9/02 D

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 1 月 23 日 (2006.1.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

【従来の技術】

従来の電気掃除機の隙間清掃具には、スライド式開閉蓋を操作し吸気量を調節しながら清掃する物（実開昭 6 1 - 7 5 2 5 2）や、細い直管を家具と家具の隙間に挿入して、清掃する物（実開平 8 - 1 3 9 3）等があった。更に又ノズルの数適所に弾力性、可逆性に乏しい蛇腹部分を設けた物（特開平 1 1 - 1 5 1 1 8 6）や、側面、底面に複数の吸い込み口を設けた物（特開平 0 9 - 1 5 4 7 8 0）等も見られた。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

【実施例】

以下、本発明の実施例について図面を参照して説明する。

（イ）電気掃除機の吸い込みホースに本発明の隙間用清掃具のジョイント（4）を差込み掃除機の運転を開始すると、先端部分の開放口（2）及び吸込み穴（3）より勢いよく吸引を始める。この隙間用清掃具を家具や冷蔵庫等の隙間に差し込み清掃する手順となるが、五方向に吸込み口があるので全方面の塵埃の吸い取りが可能である。

（ロ）フレキ管（1）の使用により家具の隙間や、目線以上の棚の上などを掃除する時は隙間用清掃具を自由自在に曲折しながら清掃できる。

（ハ）フレキ管（1）全体が弾力性、可逆性に富んで居るので、絨毯や布団、畳等はフレキ管（1）の中程を握って叩きながら、吸い取りつつ掃除すると埃と共にダニや花粉等が浮かび上がり、また舞い散らなくて非常に効率良くしかも衛生的に清掃ができる。

（ニ）清掃具自体が大変軽量なので、障害者や高齢者等には余分な肉体的負担が掛からない。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

【 発明の効果 】

本発明による電気掃除機の間隙用清掃具には次のような効果がある。

(イ)フレキ管は薄く(約15mm)楕円形に形成しているので部屋内は勿論事務所や工場、車の内部等あらゆる隙間のゴミや埃を吸い取る事ができる。

(ロ)フレキ管は薄く楕円形に出来ているので、複雑な隙間にも差し込む事が出来、また絨毯や畳、布団などは叩きながら埃等を吸い取る事もできる。

(ハ)先端に開放口を設け、同じく先端部周辺に吸込み穴を開けたので一度の挿入で、前方及び四方の塵埃が清掃できる。

(ニ)先端部分に五箇所の吸込み口があるので、吸い込み口が多少塵埃で塞がれても掃除機本体への負担がない。

(ホ)掃除具自体が軽量なので、障害者や高齢者の方達への肉体的負担も少なくまた此の掃除具一本で隙間のみならず部屋、事務所等全体の清掃も可能になる。

(ヘ)家具や事務機器間の狭い隙間や、それらの下側にたまった埃と共に花粉やダニ、その他のアレルギー、降灰、黄砂等を吸い取り、現在2000万人とも言われる花粉症や小児喘息、アレルギー性疾病を予防すると共に発症をも食い止めます。

【 手続補正 4 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 符号の説明

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 符号の説明 】

1 フレキ管      2 開放口      3 吸込み穴      4 ジョイント